

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開実用新案公報 (U)

(11) 実用新案出願公開番号

実開平4-124555

(43) 公開日 平成4年(1992)11月13日

(51) Int. Cl. <sup>3</sup>	識別記号	庁内整理番号	F I	技術表示箇所
B 6 0 R 16/02	C	7626-3D		
B 6 0 J 5/04				
// E 0 5 B 65/20		8910-2E 8307-3D	B 6 0 J 5/04	E

審査請求 未請求 請求項の数 1 (全 5 頁)

(21) 出願番号 実開平3-30150

(22) 出願日 平成3年(1991)4月30日

(71) 出願人 000148896

株式会社大井製作所

神奈川県横浜市磯子区丸山1丁目14番7号

(72) 考案者 内藤 一郎

神奈川県横浜市磯子区丸山1丁目14番7号

株式会社大井製作所内

(72) 考案者 山岸 純

神奈川県横浜市磯子区丸山1丁目14番7号

株式会社大井製作所内

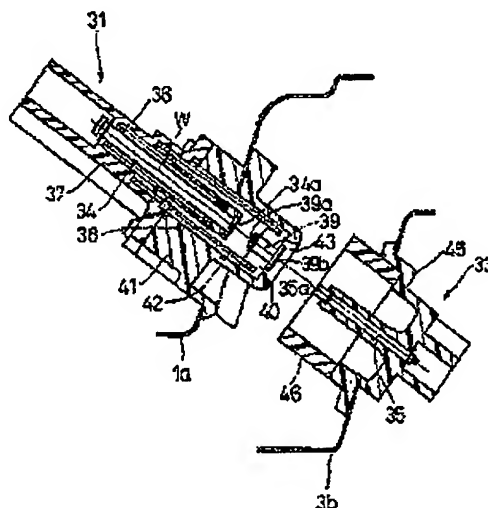
(74) 代理人 弁理士 三好 保男 (外4名)

(54) 【考案の名称】 自動車用スライドドアの給電装置

(57) 【要約】

【目的】 第1・第2給電端子の安定した接続状態を確保し、金属片が端子に触れてもショートが起きるのを防ぐ。

【構成】 前後にスライド可能なスライドドア3を有する車体1側に、バッテリー2側と接続し合う第1給電端子34を設ける一方、スライドドア3側に、ドア制御装置9側と接続し合う第2給電端子35を設け、前記第1給電端子34に、絶縁部材41により取囲まれ前記第1給電端子34と接・離可能な可動端子39を設け、この可動端子39を、前記スライドドア3の開閉時に前記第2給電端子35の先端35aによって押圧すると共に可動端子39を挟んで第1・第2給電端子34・35の接続を図ることを特徴とする。



(2)

実開平4-124555

1

2

## 【実用新案登録請求の範囲】

【請求項1】 前後にスライド可能なスライドドアを有する車体側に、バッテリー側と接続し合う第1給電端子を設ける一方、スライドドア側に、ドア制御装置側と接続し合う第2給電端子を設け、前記第1給電端子に、絶縁部材により取囲まれ前記第1給電端子と接・離可能な可動端子を設け、この可動端子を、前記スライドドアの開扉時に前記第2給電端子の先端によって押圧すると共に可動端子を挟んで第1、第2給電端子の接続を図ることを特徴とする自動車用スライドドアの給電装置。

## 【図面の簡単な説明】

【図1】 この考案にかかる給電装置の切り離された状態の断面図である。

【図2】 ドアを途中まで閉めた状態の第1・第2給電端子の動作図である。

【図3】 ハーフラッチ状態の第1・第2給電端子の動作図である。

【図4】 フルラッチ状態の第1・第2給電端子の動作図

である。

【図5】 この考案を実施した自動車の要部の外観図である。

【図6】 ストライカとラッチの噛み合い状態を示した動作図である。

【図7】 図6のVII-VII線断面図である。

【図8】 図6をA-A方向からみ見た矢視図である。

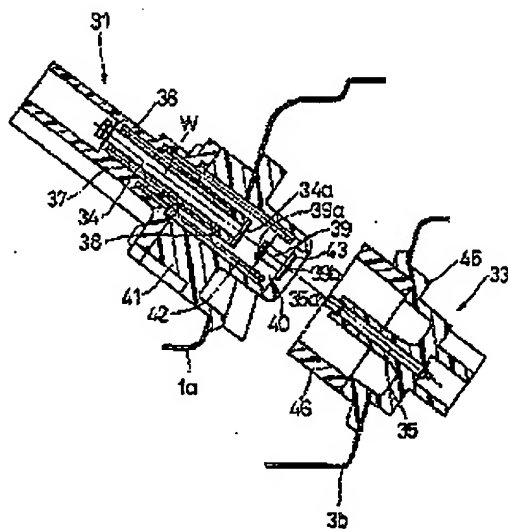
【図9】 駆動手段を拡大して示した側面図である。

【図10】 電気回路図である。

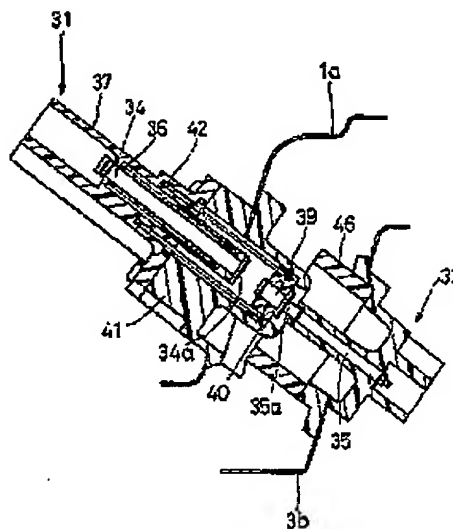
## 10 【符号の説明】

- 1 車体
- 3 スライドドア
- 9 ドア制御装置
- 21 バッテリー
- 34 第1給電端子
- 35 第2給電端子
- 39 可動端子
- 41 絶縁部材

【図1】



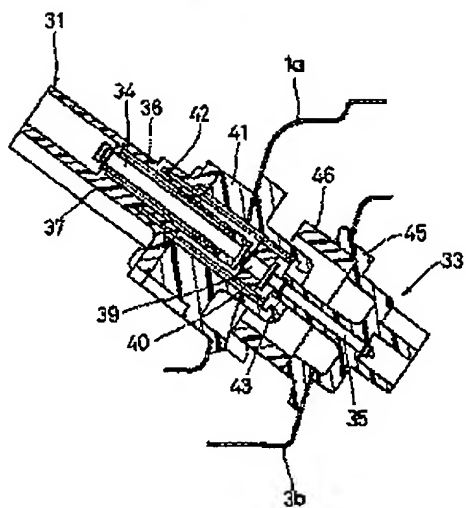
【図2】



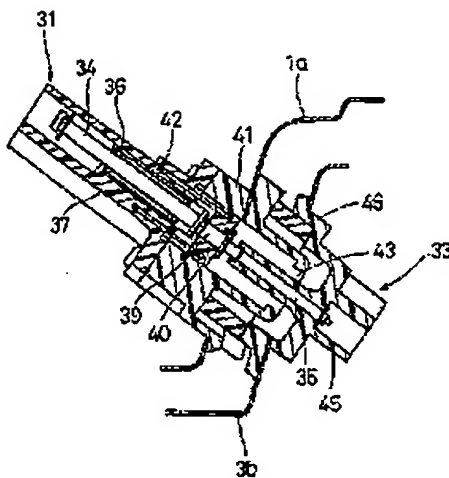
(3)

実開平4-124555

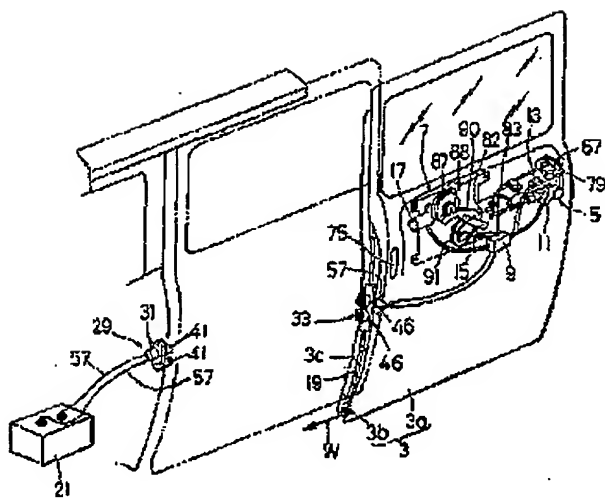
【図3】



【図4】



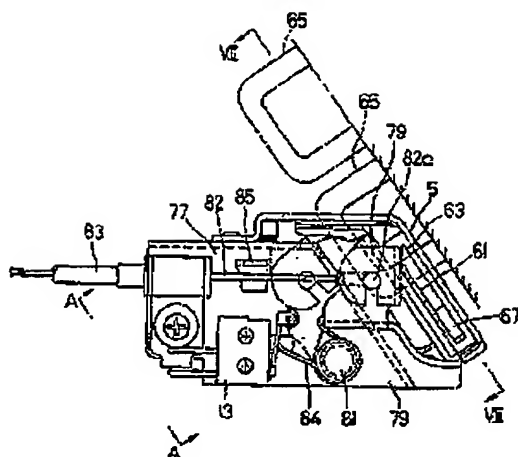
【図5】



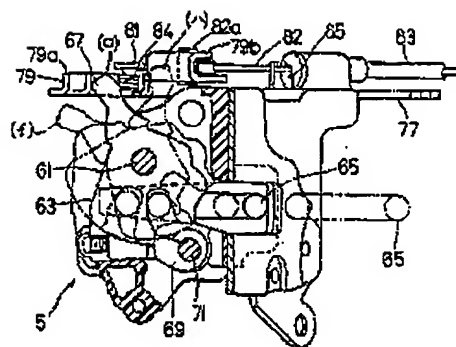
(4)

実開平4-124555

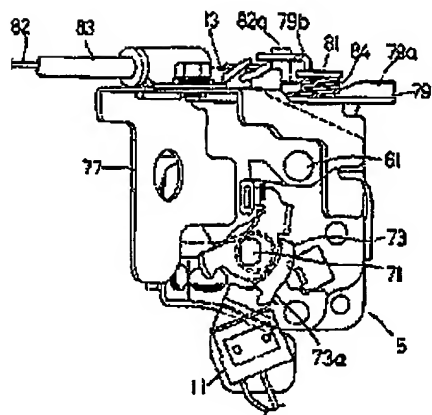
【図6】



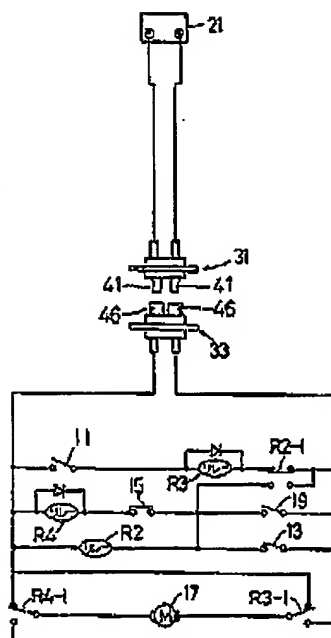
【図7】



【図8】



【図10】



(5)

実開平4-124555

【図9】

